



宮城県業務説明会

建築

**Miyagi
Prefectural
Government**

建築職の仕事

県有施設の整備・維持管理、許認可業務（建築確認・開発許可）などの建築行政

配属先

建築宅地課、住宅課、営繕課、土木事務所など

自己紹介 宮城県出身

H24.3月 **県外大学卒業**

H24.4月～ **民間企業入社（施工管理）**

H30.4月～ **北部土木事務所 建築班**

建築確認・開発許可などの許認可業務、危険ブロック塀の実態調査など

R3.4月～ **土木部 建築宅地課 建築指導班**

建築許可などの許認可業務、構造計算適合性判定業務、建築基準条例の改正、
がけ地近接等危険住宅移転事業など

R6.4月～ **土木部 営繕課 施設保全班**

県有建築物の保全点検、営繕工事の設計及び施工など

志望動機

なぜ公務員だった？

- ・小さい頃から建築に興味があり、学生時代や前職の経験を、図面の審査や県有施設の整備など様々な業務で生かしたいと思った。
- ・前職では計画的に休暇を取得することがあまり出来なかったが、公務員であれば災害対応等はあるものの、プライベートの計画を立てやすいと考えた。

なんで宮城県庁を選んだ？

- ・大学や前職で県外にいる期間が長く、豊かな自然と充実した都市機能を兼ね備えた宮城県の魅力を、客観的に認識する機会が多かった。
- ・東日本大震災は関東地方で経験しており、当時は地元のために何も出来なかったことから、少しでも復興に携わる仕事に就きたいと思った。

担当した仕事 (北部土木事務所)

週に2～3日は、中間・完了検査に赴く



窓口業務では、設計者から相談を受け、法律への適合状況を確認したり、各種申請の受付などを行う



大変だったこと

- ◆ 平成30年に発生した大阪府北部地震をきっかけに、小学校通学路における危険ブロック塀の実態調査を行いました。
- ◆ 調査では、地域住民の方から様々なご意見をいただきましたが、粘り強く改善をお願いすることで、少しずつ通学路の安全が確保されていく状況を目の当たりにし、建築行政としての仕事のやりがいを感じました。

心掛けていること

- ◆ 疑問に思ったことは、できるだけその場ですぐに調べる。

調べても分からないときは、遠慮せずに周りに問いかけます。

初めての職場だと「何が分かっていないか分からない」なんて事もあります…。

- ◆ 仕事での悩みや心配事があるときは、同僚や上司に早めに相談する。

同僚や上司の知識・経験が助けになるだけでなく、周りと共有することで気持ちも楽になります。

1日のスケジュール（保全点検）

8:30 出勤

9:30 点検現場へ出発

12:00 昼休み

13:00

引き続き点検業務

16:00 帰庁

点検報告書作成

17:15 退勤

入庁前のイメージとギャップ

入庁前のイメージ

- ◆ 職場は堅苦しい雰囲気、おとなしい人多そう
- ◆ 県庁や地方公所への来客はあんまりなさそう

入庁してみたら…

- ◆ 同僚や上司とコミュニケーションを取りながら仕事ができ、明るく活発な人も多い
- ◆ 設計者からの相談・申請・打合せなど、特に地方公所では来客や電話対応が多い

前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！



人財育成の環境が整っている

自分で考える力も大切ですが、職場の上司や同僚に質問しやすい雰囲気職場です。また、公務研修所での研修も充実しています。



施工管理の経験が役に立った

今所属している営繕課では、前職での施工管理の経験が役に立っています。設計図だけでは見えてこない現場の懸念材料などを現場監督と同じレベルで想像できるのは大きなメリットだと感じています。公務員は特定のスキルのみが求められる訳ではないので、どんな業務でも前職での経験は必ずどこかで活かせると思います。

働いて感じる宮城県職員の魅力

- ◆ 県職員は、国や市町村と連絡調整する機会も多く、県だけでなく国の政策や方針を、できるだけ分かりやすく効率的な形で地元へと落とし込む重要な役割を担っていると考えています。
- ◆ また、法律の知識だけでなく、企画力や関係機関との調整能力など、県職員として求められるスキルは多岐にわたるため、どんな人にとってもキャリアアップのチャンスがある職場だと思っています。

みなさんへのメッセージ

- ◆ 学生の皆さんは、残り少ない学校生活を思う存分楽しんでください。
- ◆ 社会人の皆さんは、今の業務が転職先での自分の強みになると思って知識や経験を培ってください。
- ◆ 皆さんと一緒に宮城県のために働ける日を、今から楽しみにしています。